



明峰

令和8年4月13日

第1号

校長 岡野利男

※美術同好会のメンバーによる生徒会掲示板です。2か月に一度、更新されます。



優しさとさわやかさを届ける

標題の「優しさとさわやかさを届ける」という言葉は、私が大切にしている教育観です。2・3年生の保護者の皆様には、昨年度も【学校だより第1号】でお伝えしましたが、私は教師の本分を、

○出会えた子供に優しさとさわやかさを届けること

○出会った人に優しさとさわやかさをプレゼントできる子供の育成に努めること

だと考えています。

この度の人事異動により、本校では職員の約半数が入れ替わりました。ですから、昨年同様、4月1日にこの言葉とともに次の話を職員に伝えたところです。「学校という場所、教室という空間で、毎日子供たちを迎える我々に求められるのは、『事実』の向こうには『真実』があるということを常に心に留め置くこと。今日も笑顔のあの生徒の向こうには、こぼれそうな涙をこらえる我慢があるのかもしれない。その思いを持っておくことが必要。事実の向こうにある真実を見抜くことは誰にもできない。でも、“事実の向こうには真実があるのだ”という構えを持つことはできるはず、そういう構えを持った教師集団であり続けたい。」保護者の皆様、地域の皆様へのお願い。我々の教育活動や言動が、優しさとさわやかさに欠けると思われることありましよう。その時は、その声をどうぞお寄せください。理想の教育活動に向けて、改善の材料とします。

さて、生徒の様子に目を向けますと、昨年度1年間で、「優しさとさわやかさ」という言葉を、様々な場で使う生徒が増えました。そのことを大変嬉しく思います。実際に生徒の中には、口にするだけでなく、そうあるべく自分を律する者の姿も見られます。さらに嬉しいことに、今朝の1年生の登校時の挨拶は、新たな明峰を予感させるものでした。

明峰を卒業した子供たちが、5年後も10年後も、優しさとさわやかさをプレゼントできる人であり続ける。それが私の理想、願いです。

それでは、保護者の皆様、地域の皆様、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



自分探しの旅の第2章(ステージ)

9日の入学式において、「中学生生活という自分探しの旅の第2章(ステージ)に立ったみなさんへ」という趣旨の話をしました。実は、「自分探しの旅の第2章」という言葉自体は昨年度の入学式でも用いたのですが、今年度は、「自分探しの旅の主人公は自分自身ということを自覚すること。進むのか、止まるのか、あるいは変更するのか、決めるのはいつもあなただと覚悟すること。主人公として、自分の人生を生きる力を身に付ける、そして主人公として、あなたの旅に登場する脇役となる人たちを大切にする、その人たちの言葉に耳を傾け、心を通わすこと。地図のない旅にあって、心温かな主人公であること。」という内容に変更しました。

私自身、6年ぶりに学校という場所で過ごした昨年度の1年間は、中学生の持つエネルギーや成長の著しさ、大人や社会に影響を与えるほどのひたむきさに改めて驚くとともに、時に不安定さからくる心無い言動に胸を痛めることもしばしばあった時間でした。新入生に話をしながら、2・3年生にも届けるつもりで話をしたところです。

また、新入生保護者の皆様にはこの話に関連させて、「中学生はさながら若い川のようなものです。学びや経験の不足から時に心の氾濫を起こすもの。親にも教師にも時に共に流れる砂や小石となり、時に流れを変えぬための堤防となる必要があります。」とお伝えしました。2年生、3年生の保護者様にも、確認いただけたらと思います。

「自分探しの旅」320名の全生徒が、それぞれに自分のリュックを背負い、自分の靴を履いて、自分の選んだ道を歩いています。時に分かれ道に立つ道標となり、時に休憩所にそっと佇む腰掛石となること、それが共にいる大人、伴走者としての大人の役割だと思っております。

どの子も、主人公の自分を好きでいてほしい、自分が選んだ自分自身の旅路を楽しんでほしい。そう願っています。



【学校だより「明峰」について】

既に2年生、3年生の保護者の皆様には、御理解いただいているものと勝手に思っているのですが、私の発行する学校だよりは、

○日々の学校生活の新鮮な情報が記載されているわけではありません…。

○中学生の保護者として「教養が高まる」情報が記載されているわけでもありません…。

○来週や来月の予定、提出物のお願い等の連絡事項が載っているわけでもありません…。
ということですので、「読まないで困ったことになる」ことが一切ありません。(力を入れて説明するようなことでもありませんが、本当にそうです…。)

◇その時々で、私が感じたことや考えたことを記載しています。ですから、「難しかった」や「意味が分からなかった」等のお声をいただくこともありました…。

◇月に2～3回程度、年間30号の発行回数にしたいと思います。去年、たまたま30号発行したので今年も同じにします(ー)。

◇今号は、両面刷り(A4 2枚)となりましたが、ほとんど、片面のみ(A4 1枚)での発行となる予定です。5分で読めます。

と、こういう具合ですので、気楽におつきあいいただければと思います。よろしくお願ひします。

追伸 来校される保護者の方から「校長先生の学校だより、愛読しています。」という声を何度かいただきました。そのお声、大歓迎です(ー)。元気になります。参考までに…。

【個人情報の取扱いについて】

保護者の皆様には、年度初め、生徒指導カードや保健調査票等、個人情報に関する書類の提出をお願いしてきたところです。

収集した個人情報は、厳重に保管するとともに、学校の業務以外の目的に使用しないことをお約束します。

また、この学校だよりや本校ホームページでは授業の様子や学校行事等、生徒の個人名や写真を掲載することがあります。支障のある方は、学級担任へお知らせください。

【コミュニティ・スクールの導入】

本校は、今年度からコミュニティ・スクールを導入しています。コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」が設置された学校であり、運営協議会委員の皆様は、校長とともに学校運営に携わる責任と権限をお持ちになります。たとえば、1年間の学校運営を展開するにあたり、校長は学校運営協議会の方々から、その『承認』をいただかないといけません。先月、承認いただいた令和8年度の学校運営基本方針において、もっともお伝えしたい点は次の2点です。

◎「**自分の人生を生きる力**」の育成を明峰中学校教育活動のテーマとすること。

◎学校・家庭・地域が手を取り合って、

- 1 「確かな学力」の育成に努めること
- 2 「豊かな心」の育成に努めること
- 3 「健やかな体」の育成に努めること
- 4 「つながる力」の育成に努めること。

今後、学校だよりにおいて、学校運営協議会の協議の様子を紹介させていただきますね。

【犬塚さんからの贈りもの】

写真の生け花は、永昌町在住の犬塚照代さんによるものです。本校の職員玄関に飾られています。犬塚さんは2週間に1度の割合で、ボランティアとして来校されきれいな花をいけてくださいます。



犬塚さんが、この生け花のボランティアを始められたのは、30年以上前の平成6年度からとのこと。その頃の本校は生徒指導上の問題行動が絶えない学校でした。当時、お子さんが明峰中に在籍していた犬塚さんが、「子供たちのために何かできることはないか」と考えた末の行動だったそうです。

「花の力ってすごいですよ。いろんなことを教えてくれます。」と犬塚さん。今年度も、学校だよりで犬塚さんの生け花を随時紹介してまいります。

今回の花は、4月8日にいけてくださった「山ナシ」「スカシ百合」「スプレーバラ」です。